

2015年1月20日 掲載 カーゴジャパン

トナミ運輸／第一貨物

「中京・東海く関東」間で共同運行開始

各社1便を共同化、今後も久留米運送を含めた3社の共同化を拡大へ

トナミ運輸（綿貫勝介社長）と第一貨物（武藤幸規社長）は13日から、中京・東海く関東間で共同運行を開始した。両社の富士支店、小牧支店から関東地区向けの幹線便各1便を共同化するもので、幹線運行の効率化を促進していく。

具体的には、第一貨物の富士支店の自社便がトナミ運輸の富士支店に立ち寄り、5トの関東向け貨物を積載。一方、トナミ運輸の小牧支店の自社便が第一貨物の小牧支店に立ち寄り、同様に5トの関東向け貨物を積載し、輸送する。

両社に久留米運送を加えた3社は、2012年9月に合弁会社「ジャパン・トランス・ライオン（JTL）」を設立し、関東く関西間の幹線運行の一部を共同化してきた。

今回の2社による共同化も3社の共同化の枠組みの中から実現したもので、昨年9月以降、JTL運行部会で協議を重ねてきたもの。

なお、3社では今後も土・日曜日の運行効率化に向けて共同化の拡大を検討していくほか、部分的な施設共有化や共同配達の具体化も図っていく。

